



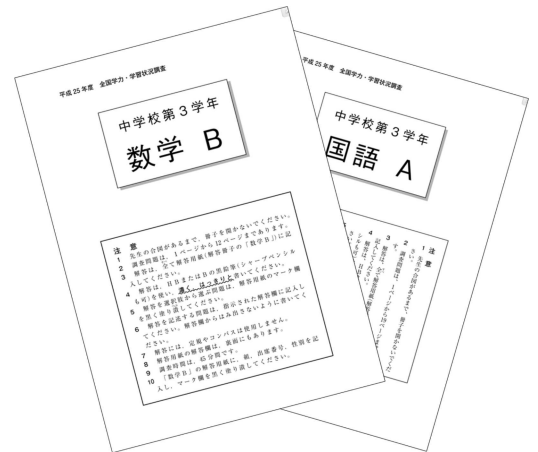
平成25年 全国学力・学習状況調査結果から

国語A 全国平均を 上回る

国語B 全国平均を 上回る

数学A 全国平均を 上回る

数学B 全国平均を 大きく上回る



平成25年度全国学力・学習状況調査における浜松市の中学生の結果は上記のとおりでした。すべてにおいて全国の平均を上回り、特に数学Bは全国平均を大きく上回るよい結果でした。

この報告書は、調査結果から見えてきた浜松市の子どもの学力や生活習慣の傾向と課題、また、それに対して各学校で取り組んでほしいことや授業改善のアイデアについて、以下の項目ごとにまとめてあります。

- 質問紙の傾向と改善の視点
- 国語の傾向と授業改善
- 数学の傾向と授業改善

■ 浜松市小学校データ
■ 浜松市中学校データ

授業の質を問う

<生徒へのアンケート>

Q 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか。

浜松市の値
から全国の値
を引いた数値

全国平均

2.1%

-1.5%

浜松市の値

61.4%

66.4%



「難しい・どちらかと言えば難しい」と答えた子どもが6割を超えています。小学校では、全国平均を上回っています。



教師は指導をしたつもりでも、子どもたちは苦手意識をもっています。今の指導が、十分に成果を上げているとは言えません。活動の目的を明確にしたり、発達段階に応じてどのような指導を行うか校内で検討したりして、指導の改善に努めてください。

<教師へのアンケート>

Q 児童が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか。

3.3%

4.6%

94.2%

90.3%



9割以上の学校で、意図的に表現する場を設定し指導しています。

プロ教師として
指導の質を磨く

導はず子
す、れど
るずも
必れいと
要をま教
が意す師
が識。の
りし私意
まてた識
す指ちは

家庭学習の質を問う

Q 家で学校の授業の復習をしていますか。

全国平均

-4.9%

-4.1%

46.5%

44.5%

「復習をしている」という設問と同様に、「予習をしている」と答えた子どもの割合も、全国平均を下回っています。

Q 家で学校の宿題をしていますか。

1.4%

6.5%

97.8%

93.3%

9割以上の子どもが家で宿題をしています。

予習や復習など、子どもが自主的に学習に取り組む習慣を身に付けられるように、家庭学習の質や量を再検討してください。家庭と連携して、子どもの学力向上を図りましょう。

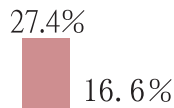


■ 浜松市小学校データ
■ 浜松市中学校データ

子どもの生活習慣を問う

Q 普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか。（6時30分より前と答えた児童生徒の割合）

61.4% 56.3%



全国平均

「早寝・早起き・朝ご飯」といった基本的な生活習慣が身に付いています。



「基本的な生活習慣は身に付いていますが、家庭での過ごし方には課題もあります。学校と家庭が連携し、発達段階に応じた望ましい家庭での過ごし方を見直してください。」

Q 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームなどをしますか。（1時間以上すると答えた児童生徒の割合）

58.4% 51.9%



テレビゲームをする時間が長い傾向があります。

Q 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（小学校は1時間以上、中学校は2時間以上の割合）

49.9% 37.4%

平日も休みの日も家庭学習に取り組む時間が短いです。

-7.5% -3.2%

学校と家庭との連携の質を問う

家庭と力を合わせて子どもの成長保障をしていきましょう。

読書の質を問う

Q 読書は好きですか。

全国と比較しても読書が好きと答えた生徒の割合が全国平均を上回っています。

6.5%

全国平均

-1.5%

70.6% 76.6%

Q 「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。（毎日、週に数回と答えた学校の割合）

29.4%

17.4%

多くの学校で一斉読書の時間を設けています。全国平均と比べても割合は高いです。

91.3% 96.8%

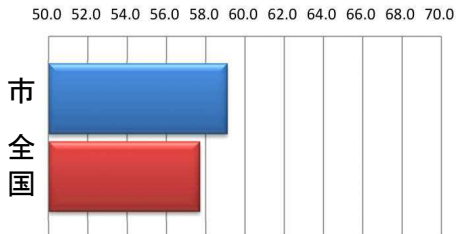
本が好きな生徒をさらに増やすために、校内の読書環境を整備したり、授業においても並行読書を取り入れたりするなど、子どもの本を選ぶ力や情報を読み解く力を高める工夫をしていきましょう。



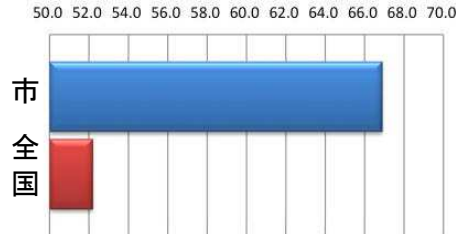
質問紙調査から見てきたこと

Q 国語の勉強は好きだ。
(好き・どちらかといえば好き)

Q 国語の授業で目的に応じて資料を読み、
自分の考えを話したり書いたりしてる。
(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)



「国語の勉強は好きだ」の割合は、やや上回っているが、6割に満たない。



「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」の割合は、全国を大きく上回っている。

子どもは、目的に応じて学ぶ意識は持っているが、好きと答えている割合は低い。国語をさらに好きにさせるために、その目的を強く意識させる課題解決的な授業をすることが大切である。

結果から学ぶ 結果を生かす

子どもにも課題意識を持たせ、国語の授業を分ける・楽しい授業にするために、課題解決的な単元構想と、思考を深める手立てを考えよう。

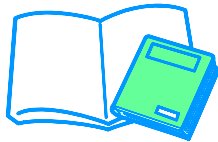
良好だと考えられること

漢字の読み書き、文法や敬語、語句の意味理解については、概ねできる。

漢字の読み書きは、全国平均を上回っていた。また、修飾・被修飾の関係を理解したり、敬語を正しく使ったりすることができた。語句の意味についても理解でき、言語についての知識等は概ね定着している。

説明的な文章、文学的な文章の読解は概ねできる。

段落相互の関係を理解し、展開を考えたり、図が示す内容と文章との関係を適切に捉え、感じたことや考えたことを書くことができた。



様々な言語活動の場面で、その活動の特徴を考えることができる。

新聞の文章構成、スピーチの取材、話し合いの司会進行などの言語活動に対し、適切に答えることができた。



課題だと考えられること

全国平均を下回る設問は、3問あった。

随筆において描写に注意して読み、内容を理解すること、報告する文章において、書いた文章を読み返し、目的に応じた表現に直すこと、ことわざの意味を理解して適切に使うことができなかった。

記述式の問題は全国平均を上回るものの、正答率は低い。

適する部分をかぎ(「」)で引用して書くことができなかった。また、「間違えやすい漢字を正しく書く注意点」に対して、漢字の特徴を適切に取り上げて説明できなかった。



正答率が高いが、誤答に特徴的な表れが見られる問題があった。

	A	B
1		
2		
3	ア	

表から適切な情報を読み取る際、一つの項目の情報に目がいってしまい、2つの項目を関連付けられなかった。

授業改善例 1

課題解決的な単元構想

教師が目的を一方向的に持たせるのではなく、生徒自らが課題をつかんで学ぶ単元をつくる

指導のポイント

- 目的を生徒に与えれば、主体的な学びができると勘違いしていませんか。教師が目的を与えるのではなく、生徒が目的を自覚し課題を明確に持つことが大切です。

指導例

【今までの例】

- 【扇の的】単元の流れ】
- ① 平家物語の時代背景について教える
 - ② 仮名遣いや語句の意味を覚える
 - ③ 場面ごとに内容をつかみ、暗唱する
 - ④ 与一の心情をつかむ
 - ⑤ 老武者を射たことについて話し合う
 - ⑥ 人物を一人選んで人物論を書く



【課題解決型への転換例】

まず、単元の終末に行う⑥を単元の始めの①に移動させ、人物を選んで人物論を書かせてみましょう。次に、その人物論が妥当かどうかを、全体を読みながら検証していきます。

その時代に生きる人物のものの見方や考え方を捉える

いにしえ人物論を書いて伝える

- 自分が印象に残った人物のいにしえ人物論を書いて、人物について話し合う場を持たせる→課題設定
- 義経、与一、老武者の立場で、人物論を書くための材料を集める。→人物論を書く
- テーマを基にそれぞれの立場で話し合い、人物論を改善する。
- 人物論を紹介し合い、その時代に生きる人物のものの見方、考え方を捉える→課題解決

授業改善例 2

思考を深める手立て

課題から、具体的な指示に基づき思考する力が不十分です。そこで…

指導のポイント

- 話し合う活動をするときに思考を深めるもうひと手間をかけましょう。

指導例

パネルディスカッション

【立場や意見を考える話し合い】

「ニュースを知るためのメディアとして最も優れているものはなにか？」

→グループで意見をまとめるとき



どんなメディアがいいかグループでちょっと話し合ってみよう。



先生！ぼくは、どう考えたらよいか分からないし、ちょっとだけでいいのですか？

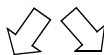


どう発問したらよいのかな？

【こんな投げ掛けを…】



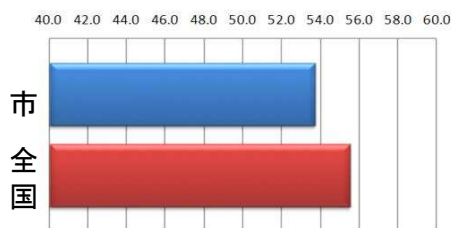
思いついたメディアを1分でできるだけたくさん書いてみよう。【列挙】
出されたメディアを、正確さ、詳しくさ、即効性の3つの観点に分けよう。
時間は5分で！【分類】



最も伝えたいメディアを2つ選び、どちらが優れているのかを比較してみよう。【比較】
決定したものとその理由を1分で説明できるようにしよう。【理由】

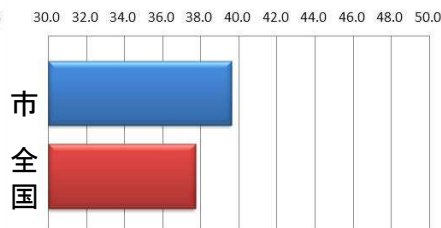
質問紙調査から見てきたこと

Q 数学の勉強は好きだ。
(好き・どちらかといえば好き)



「数学が好きだ」という子ども
が全国と比べて少ない。

Q 数学の授業で学習したことを普段の生活の中
で活用できないか考える。
(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)



「数学は日常に活用できる」と
いう市の結果が、全国とともに
4割を切り低い。

数学が日常に活用できる良さを知り、数学を学ぶこと
の意義や価値を実感させることが課題である。

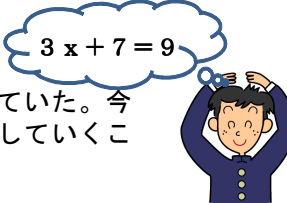
分かる・楽しい数学の授業とするために、指導と
評価の一体化を進めることと、数学を学ぶ意欲を高
め、学ぶ意義や価値を実感する授業実践をしていき
ましょう。

結果から学ぶ
結果を生かす

良好だと考えられること

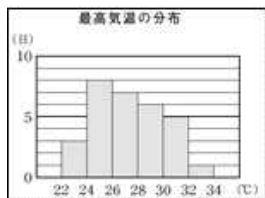
文字式の計算力が身に付いている。

方程式の文字計
算など、良くできていた。今
後も基礎の確認をしていくこ
とが大切である。



資料を活用する基本的な問題を理解して
いる。

平均値の意味や確
率の意味を理解し、
問題解決することが
できていた。



「活用」の結果は、全国を大きく上回っ
ている。

「黄金比」など
を授業の中で扱っ
ている成果が表れ
ていた。今後も教科
書の巻末問題を活用したい。

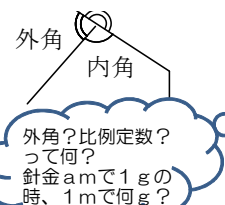


黄金比は1.41……、
自然界や芸術作品
にも隠れている。

課題だと考えられること

用語の意味を正確に理解できていない。

外角、比例定
数などの用語の
意味や数量関係
を式で表すこと
に課題があった。



日常場面が関数関係であるかを判断でき
ていない。

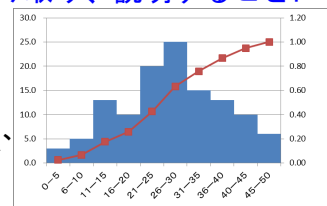
問題) 「生徒数がx人の学校の
校庭の面積ycm²は、
yがxの関数であるか？」

「xとyの
関係が比例なのか、1次関数な
のか、関数ではないのか」など
判断できない。



情報を適切に読み取り、説明することに
課題がある。

例えば、右の
様なグラフから、
代表値や散らば
りに着目して、
資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を
数学的に説明することが苦手である。



授業改善例 1

指導と評価の一体化～力が付いたか見届けよう～

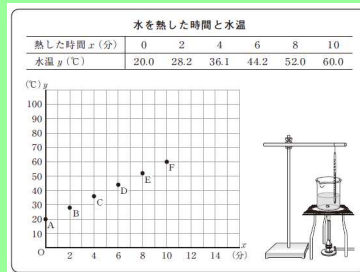
指導のポイント 何を教え、何を考えさせ、ねらいの力が付いたか見届ける

- 課題を解決する際に、情報を適切に整理し判断して、根拠を持って論理的に説明する場面を設定しましょう。
- ねらいに沿って、どこまでの説明を子どもに求めているかを明確にし、子ども自身に考えさせ、判断させ、表現させる授業を行いましょう。

指導例

- 目標を明確にして、生徒に何を教え、何を考えさせるのか発問を精選していきましょう。
- 振り返りの場を設定し、ねらいに沿って力が付いているかを見届けましょう。全国学力調査の解答類型を参考にしましょう。

グラフを見て、水温が80°Cになるまでにかかる時間を求める方法を説明しなさい。



誤答例)

グラフから、 y 座標が80のときの x 座標を求めよ。

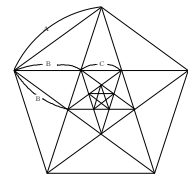
これだけでは誤答です。座標を読む前に、「直線のグラフをかき」ということを説明に入れる必要があります。

授業改善例 2

数学を学ぶ意義や、面白さ、美しさなどの価値を実感できる授業

指導のポイント 日常に活用できる、魅力ある課題設定と実践を

- 日常に潜んでいる数学の美しさ、不思議さなどに関わる魅力ある課題を取り上げましょう。
- 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理できる力を付け、考え抜く面白さを実感させましょう。



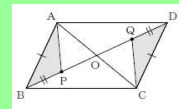
$A=B+C$
 $A:B=B:C$ だから…
そうか!



指導例

- 星形五角形から黄金比を導き出すなど、美しさの裏に秘められた数学の世界を発見するなど、創造的な数学的活動を行いましょう。
- 証明場面で、いろいろな考え方や方法を見つけ出すよさや面白さなどの価値を実感できる発展的な学習を展開しましょう。

$\square ABCD$ で、 $BP=DQ$ の時、 $AP=CQ$ を証明しなさい。



上の証明以外の別の考え方で証明をして、新しい考え方のよさを実感しよう。

